



理念 患者さま一人ひとりを大切にする医療を目指します。



## 正しい手洗いからはじまる感染予防

院長 重田 みどり

下志津病院は長年、WHO 手指衛生戦略にのっとった手指衛生の実践と改善の取組みを行ってきました。そして今回、その努力が実を結び、書類選考およびオンラインでの審査を受け、アジア太平洋地区手指衛生優秀賞を受賞しました。これは、日本国内では初の受賞であり、大変名誉なことと誇りに思っています。感染対策チームメンバー、感染マネジャー、リンクナースを初めとして中心になってくれたスタッフ、また日々

手指衛生に励んでいる全職員に賛辞を送ります。

今回のコロナ禍で一般の方々にも手指衛生の方法が広まることと思います。アルコール消毒液を手につけた後、どのように擦り込めば手指全体に効率よく広がるか、たくさんの動画が世の中で見られるようになりました。しかし、毎回正しく擦り込むことを続けるには大変な努力がいります。

当院では全職員の日々の感染対策により、新型コロナウイルス感染においてクラスターをおこすことなく今日まであります。このコロナ禍はそろそろ終焉に近づいてきているかと思います。歴史的にみれば、人類は何度も新たな感染症の脅威を乗り越えてきました。感染対策の基本は手指衛生にあります。当院は患者さまが安心して受診していただけるように、これからもきれいな手で診療を行っていきますので、よろしくお願い申し上げます。

## Index

アジア太平洋地区手指衛生優秀賞受賞	2
認定看護師の紹介	3
四街道市移動図書館・特別メニュー	4
検査科からのお知らせ	5
5 病棟 外科系混合病棟紹介	6
クリニックの紹介	7

# 「2021年アジア太平洋地区手指衛生優秀賞」を受賞しました！

感染症内科医長 鈴木 由美

手指衛生優秀賞 : Hand Hygiene Excellence Award (以下 HHEA) は「WHO 手指衛生多角的戦略」を導入し、大きな成果を上げ、地域に向けてもリーダーシップを発揮している病院に授与される国際的な賞です。アジア太平洋地区では 2010 年以降、数年に 1 回、この地区の各国の中から数施設ずつが「優秀賞」として選ばれています。日本国内の施設の受賞は、2021 年の下志津病院が初めてです！

今回、私たちは 2 段階の審査を受けました。まず 2020 年の 5 月に「予選」として、手指消毒剤の消費量・直接観察による遵守率調査の経年データ、手指衛生改善のために多角的に取り組んだ内容などについて、所定の応募フォームに入力して送りました。この結果、「訪問審査による最終審査」対象施設に選ばれましたが、翌 2021 年の COVID-19 オミクロン株による世界的な影響のため、多国籍（香港、オーストラリア等）からなる手指衛生エキスパートチームの訪問審査は実現されませんでした。

このため 2022 年になり「オンライン審査：①これまでの取組み内容のスライド発表（15 分）、②「私たちの取組みベスト 5」の動画を上映（5 分）、③書類審査と口頭質疑（40 分）」に変更され、私たちは 5 月末にこの最終審査を受審しました。「2021 年 HHEA 受賞」の嬉しいお知らせが 6 月末に届き、7 月末にオンライン授賞式に参加、8 月にトロフィーと賞状が届きました！

今回の最終審査の準備にあたり、ご出演いただいた各部署、特に療育指導室、看護部、IT 管理室、管理課のみなさんには準備・撮影・当日運営など多方面でご協力をいただきました。そして何よりも、このような受賞に値するような手指衛生に、毎日取り組んでくださっている現場スタッフの皆さん一人ひとりに、心より深謝いたします。

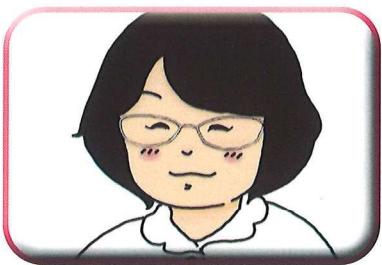
手指衛生は誰もが実施できる、非常に重要で効果的な感染対策です。これからもみんなで笑顔で、高い遵守率で正しい手指衛生の実践を目指していきたいと思います。



# 下志津病院 認定看護師紹介

2022  
年度

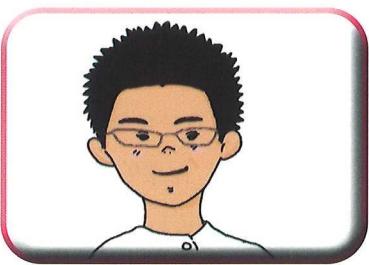
私たちが当院の認定看護師です。  
ご要望に応じ、地域に出向き対応いたします。  
どうぞよろしくお願ひいたします。



## 感染管理

おおひろ すみえ  
**大廣 澄江**

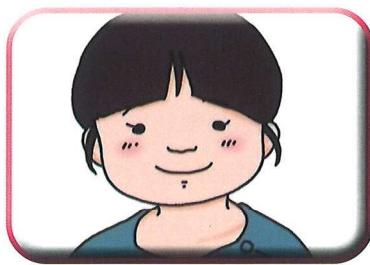
☆蟹座  
☆血液型O型  
☆群馬県桐生市出身  
☆趣味：映画鑑賞 美術館巡り  
☆座右の銘：優しくありたい  
☆認定看護師になった動機  
クリーンルームでつらい闘病生活を送る患者さんへ提供される看護に矛盾を感じ、この世界へ飛び込みました。また、当時、先駆的だった、HIVや鳥インフルエンザなど、未知なるウイルスからの挑戦を受け、患者さんやスタッフを守りたいと思ったからです。



## 慢性呼吸器疾患看護

さとう たかひろ  
**佐藤 孝宏**

☆おとめ座  
☆血液型A型  
☆山形県酒田市出身  
☆趣味：ドライブを兼ねて美味しい食べ物を食べに行くこと  
☆座右の銘：情けは人のためならず  
☆認定看護師になった動機  
新人看護師の時に先輩看護師から呼吸ケアを楽しく分かりやすく様々な呼吸ケアの研修に参加する中で慢性呼吸器疾患看護の認定分野を知り、もっと勉強し患者さんの療養生活に活かしたいと思ったからです。



## 感染管理

もりの もとこ  
**森野 誠子**

☆射手座  
☆血液型B型  
☆東京都江戸川区出身  
☆趣味：愛犬と遊ぶ  
☆座右の銘：一期一会  
☆認定看護師になった動機  
院内でアウトブレイクが発生した時に有志で立ち上げたICTのメンバーとなつたが、感染管理に関する知識が全くなかったため1から勉強したいと思ったからです。ただいま、新型コロナウイルス対応の第一線で日夜奮闘中です。



## 緩和ケア

こうち かえ  
**高地 香枝**

☆射手座  
☆血液型O型  
☆青森県八戸市出身  
☆趣味：車で走る、猫と遊ぶ、楽器  
☆座右の銘：七転び八起き  
☆認定看護師になった動機  
多くの治らない病気の患者さんに出会い、それでも日々を生きていく事を大事にしていることを、少しでもお手伝い出来たらという思いからです。



## 手術室看護

こばやし あきこ  
**小林 亜紀子**

☆てんびん座  
☆血液型A型  
☆千葉県佐倉市出身  
☆趣味：SnowMan ♡を鑑賞する  
英会話（勉強中）  
☆座右の銘：石の上にも3年  
☆認定看護師になった動機  
患者さんにとって手術という人生最大のイベントに、一番傍で関わる看護師として、より安全に、そして苦痛が最小限になるように、知識・技術を習得し、寄り添っていきたいと思ったからです。



## 摂食嚥下障害看護

【近日、デビュー予定！】  
きむら りょうたろう  
**木村 諒太朗**

☆うお座  
☆血液型A型  
☆東京都江戸川区出身  
☆趣味：サイクリング、料理、温泉  
☆認定看護師を志した理由  
重症心身障害児者の嚥下障害を有する患者さんとの関わりを通じて、患者さんの「食べる」ことに対する思いと大切さを学びました。摂食嚥下障害を持つ患者さんが出来るだけ安全安楽に食事を楽しめるよう、支援したいと思います。

# 移動図書館「ドリーム号」好評巡回中！！

児童指導員 梶原 早希

当院には4週間に1度の頻度で四街道市立図書館の移動図書館「ドリーム号」が巡回してきます。利用者は主に筋ジストロフィー病棟で長期療養されている患者さまですが、利用カードがあればどなたでも利用することができます。残念ながら現在は感染症予防対策のため患者さまがドリーム号まで行き本を選ぶことはできませんが、職員が代行しています。1日も早く本好きの患者さまの社交場に戻ることを祈っています。希望の本もリクエストをすれば借りることができます。

療育指導室の記録では2000年には「ドリーム号」が来院している記述があり今年で22年目を迎えます。患者さまは本が好きな方が多く、巡回日を心待ちにしています。



日時：水曜日（4週毎） 14:15～14:45

場所：職員駐車場入口（旧12病棟入口）付近

※巡回予定日が変更となる場合があります。

療育指導室までお問い合わせ下さい。

## 特別メニューについて

栄養管理室長 白戸 ゆり

下志津病院では令和2年10月より、特別メニューを実施しています。特別メニューとは、週に1回、一般病棟や筋ジストロフィー病棟を対象とした選択食で、普段病院ではあまりお出ししないようなバラエティ豊かなメニューを提供しています。



### 特別メニュー人気ランキング

1	海鮮丼
2	ひつまぶし
3	天ぷら・茶碗蒸し
4	ビーフシチュー

### 特別メニュー・選択条件

対象者：対象病棟で、常食等お召し上がりの方

（禁止項目のある方は除く）

実施日：毎週火曜日・昼食（休止あり）

自己負担額：1食あたり110円（税込）



▲海鮮丼



▲ひつまぶし



▲天ぷら・茶碗蒸し



▲ビーフシチュー

特に人気の高かったのは、生活中でも特別な日に食べる、少し贅沢なメニューでした。

入院中でも特別感を感じていただけるよう、

これからも、皆様の心に彩りをそえられるようなメニュー作りをしていきたいです。

# 臨床検査技師に聞いてみよう！

臨床検査科から生理機能検査の何故？なに？について3回にわたってお届けします！

## 2回目は呼吸機能検査についてご紹介。



呼吸機能検査って、とっても苦しいし一生懸命頑張ってるので、もっと頑張れー！って……いったいどんな検査なの？

呼吸機能検査は、肺の機能を調べる検査なので。息の吸う力・吐く力・酸素をどれだけ取り込んでいるかを見ていく検査よ。苦しいけど、限界まで吸ったり吐いたりしないと、正確な結果を得ることが出来ない。



どんな時に受けるの？

ぜんそくや、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、間質性肺炎など、呼吸器の病気が疑われる時や、その症状がある場合、現在どうなっているか？を見ていくわよ。病気がなくても、手術を受ける前にも受ける検査なの。



- ★肺活量検査(VC)では、肺にどれだけ息を吸って出すことが出来るかを見ていきます。
- ★努力性肺活量検査(FVC)では、息の通り道が狭くなつていなかや吐き出す息の勢いを見ていきます。
- ★検査の時は、一時的にマスクを外していただきます。
- ★口で息をしっかり吸ったり吐いたりして頂く為、鼻をクリップで留めて、検査を行います。また、息が漏れないように「ウー」の口の形でしっかり咥えます。
- ★検査技師の掛け声にあわせて検査を行います。

診断の確定や治療効果をみるために、追加で様々な検査を行います。  
下記に紹介する検査は、主に気管支喘息の状態を把握するのに役立ちます。



呼気一酸化窒素検査  
気管支喘息の気道  
炎症の程度を調べ  
ます。

### 呼吸抵抗検査

最大努力を必要とせず安静呼吸で行い、以下のことを調べます。

- ・気道から肺までの空気の通りやすさ
- ・気道から肺までの、どのあたりに空気の流れの抵抗があるか
- ・呼吸する時の肺の膨らみやすさをみています。

呼吸機能検査を受けられる時は、お食事やトイレの制限はありません。  
コルセットを着用されている場合、十分な呼吸がしにくいため、緩めたり外したりしてください。

# 5病棟 外科系混合病棟紹介

5病棟 看護師長 稲本 結美  
副看護師長 高地 香枝  
井上 直美

5病棟は外科の混合病棟です。主な診療科は、整形外科、外科、脳神経外科です。

整形外科では、骨折や変形性関節症、脊椎疾患の手術療法や、胸腰椎の骨折等で、安静保存治療目的の治療を行います。外科では、胃がんや大腸がん、鼠経（そけい）ヘルニアの手術療法、大腸ポリープ内視鏡切除、化学療法、緩和ケアなどを行います。脳神経外科では、脳梗塞や脳出血の治療や慢性硬膜下血腫の手術療法を行います。当病棟では手術を受ける患者さまが多く入院します。

今回は、手術前後、退院支援においてどのような看護を提供しているか紹介します。

## 【手術前】

手術前には、患者さまが安心して手術に臨めるよう支援します。手術前オリエンテーションを行い、手術当日や手術後の処置や状態のイメージができるよう、一人ひとりの理解に応じて説明します。医師から手術の説明を受け、わからないことや心配があれば、患者さまに伝わりやすい言葉を選択し理解を深め不安を軽減できるように努めます。

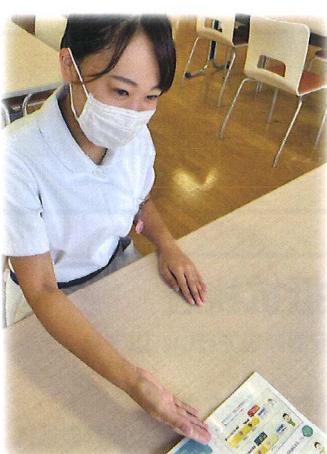


## 【手術後】

手術後は、異常の早期発見が確実にできるように努めます。手術後のわずかな状態の変化に気づき、医師と連携して早期に対応することが私たち看護師の役割です。患者さまが不安を軽減できるよう定期的に病室に訪室し、患者さまの訴えや客観的な情報から状態を観察しています。また、痛みのために思うように動けないことがあります。その時は、我慢することなく痛みの状況を伝えいただき、薬や体位調整などで調節を行います。痛みを軽減し、積極的にリハビリに臨めるよう支援します。

## 【退院支援】

退院後どのような生活を望んでいるのか、患者さまとご家族の思いを聞きながら、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、医療ソーシャルワーカー（MSW）など多職種で連携し支援します。当病棟は、入院される約半数の方が緊急入院です。予期せぬけがや病気による突然の入院は、退院後の生活に大きな不安を感じることと思います。不安が少しでも軽減するよう患者さまの言葉に耳を傾け、医師からの退院許可後すぐに退院できるよう、早期に介入し退院後の生活の準備を支援しています。



入院生活の中でも笑顔になれるよう、  
思いやりと暖かみのある看護を日々心掛けています

## 地域医療連携室から(クリニックご紹介)



医学生の頃、所属していた東洋医学のサークルのOBである漢方の大家の先生からこんな話を聞いたことがある。「この地球上には40万種もの疾患が存在し、君達がこれから学ぶ西洋医学では10万種の疾患にしか対応できない。が、しかし東洋医学が加わると更にもう20万種に対応できるようになる」と。

さて困った。それでは世界一の名医を目指したとしても残る1/4の疾患にはお手上げと言うことになるではないか。ではどうする？違うアプローチを試みたらこの難題の解決の糸口が見えるかも。“そうだ、良医を目指そう！”JRのキャッチャーなコピーのようだが、当時はただ漠然とそう考えた。10余年前に旗揚げした際、真っ先に掲げたのは頭のてっぺんからつま先まで（脱毛症～爪白癬まで）一つのクリニックで完結するコンビニエントな医療機関の創設。そして目指したのは究極のジェネラリスト。標榜科は許されるものなら『よろず何でも科』と掲げたかった。かねてより大学病院方式の縦割り・臓器別の診療体制に疑問と限界を感じていたからだ。患者の全身を丸ごと包み込むように診る。その全人的診療スタイルを貫くため、先ずは3つの基本となる型を10年かけて会得した。題して『病滅の刃』—医者の呼吸—

壹の型「傾聴、ただただ傾聴」 弐の型「絶対的受容と全肯定」 参の型「併走の矜持」。

患者はファーストコンタクトの瞬間から見定めようとする。その医者が生涯の伴走者たる人物かどうか。だから「専門外で分からぬ」という逃げ口上だけは使うまいと誓いを立てた。病の恐怖とは、言い換えてみれば「未知なるものに対する無知がもたらす恐怖」である。決して突き放さない、見限らない、最後まで徹底的に言葉を尽くして説明する。そして「治らない」などと軽はずみに断定しない。医学の限界がイコール医療の限界と言うわけでもなかろう。病を治しているのは、果たして医者か患者か？例えば擦り傷ひとつ取ってみても治したのは本人の治癒力によるもので、医療が介在する余地は僅かだ。だからちっぽけな「医学の敗北」ごときをもって、「絶対治らない」などと生命に宿る治癒力までも全否定することは許されないと思う。我々医者は思っているほど治しちゃいない。あらかた患者が治している。もし治療の手立てを全て奪われ、万策尽きたとしても最後まで寄り添い必ず併走する…問われているのは、その姿勢と矜持だ。

だから私は今日も印旛沼の畔に佇み、さながら漁師のように朝から晩まで黙々と投網を続いている。ただ私が投げているのは「cure」という小さな網ではない。私は『care』という大きな、大きな網を投げているのだ。昨日より今日は更に遠くへ、そして明日は、より大きな弧を描くように。いつの日か、その網の中に40万全ての魚種が収まる未来を夢想しながら…。そんな私の傍らには、同じく無類の“お魚大好きキラキラ女子！？”11名が取りこぼしのないよう、タモ網を構えて目を光らせてくれている。

以上、まこクリイズムのご紹介でした。

院長改め『柱』梅 岡 誠

■受付時間■

8:30~11:00

# 外来診療担当表

独立行政法人 国立病院機構 下志津病院  
令和4年10月5日~

区分	月	火	水	木	金
内科					
一般内科(月~木) リウマチ科(毎日) 消化器内科(月・水)	● 杉本 古川 ○ 富澤 大野(PM)	杉山 篠崎 ●○ 古川 末石 横山(AM)	古川 富澤 ●○ 黒田	杉山 杉本 ○ 杉浦 ● 真山(快)	● 杉山 杉本 ●○ 白井(萌) 西村
○一般内科 初診担当 ●リウマチ科 初診担当					
アレルギー科(成人) (喘息)			佐野 (第1・3・5 13:00~15:00)		岩本(AM)
呼吸器科			梅岡(PM) (第2・4)		
睡眠時無呼吸外来※			鈴木(修)(15:00~16:00)		
禁煙外来※					
脳神経外科	丹野	石毛/丹野	深谷	丹野	深谷
神経内科		本吉/三方	本吉	田中	本吉/三方
小児神経科※	大村		石原	大村	
小児科					
一般小児科(毎日) 喘息・アレルギー (毎日・予約制)※ 代謝(水のみ) 腎臓(水曜午後・木・金) 肥満(木・金) 血管腫(火・予約制)※	渡邊 吉富 鈴木(修)(AM) 交代制 (女子医大)	重田 仲村 佐藤(一) 山出	山本(重) 鈴木(由) 交代制 (千葉大) 鈴木(修) 山出	砂川 渡邊 中村(文) 佐藤(一) 交代制 (女子医大)	関谷 石原 中村(文) 鈴木(修) 須藤
		鈴木(由)(PM)	松村(PM)	山出(PM)	
外科	白井(芳)	一木	一木	長谷川(留) (予約制) 白井(芳)	白井(芳) (予約制) 長谷川(留)
整形外科	山中 玉井 向畑	鈴木(宗) 玉井 西石垣	交代制 (9:30から診察開始)	篠原 西石垣 山中 小林(達)(PM)	鈴木(宗) 篠原 江口
リハビリテーション科			三方(指定する日)		

以下の診療をご希望の方は地域医療連携室へお問い合わせ下さい。(完全予約制 TEL 043-422-3025(直通))

※ 小児神経科の初診の方

※ 小児科の食物アレルギー・気管支喘息・アトピー性皮膚炎・血管腫の紹介状をお持ちの方

※ 睡眠時無呼吸外来・禁煙外来

## 検査担当医師表

区分	月	火	水	木	金
内視鏡 (予約制)	胃 大腸	長谷川	富澤	長谷川	篠崎
				長谷川・白井(芳)	長谷川・白井(芳)
超音波 (予約制)	腹部	富澤(AM)		篠崎(AM)	富澤(AM)
	関節	山形・乗本(PM)			山形・真山(PM)
	心臓(成人)	堅田(AM)	筋ジス木村(第3)		
	心臓(小児)			國松(PM)(第4のみ)	濱田(PM)(第2のみ)

四街道市乳児健診	健診は第4木曜日14:00から行います。 予防接種・乳児健診予約のお問い合わせは1番窓口と電話にて受付しています。(予約受付 平日13:00~16:00 043-422-3513(直通))
----------	---

四街道市個別検診	肝炎ウイルス、特定健診、大腸がん、胃内視鏡、骨粗しょう症、肺がん。 実施期間等は病院ホームページを参照、またはお問い合わせください。
----------	---

- 精神科・皮膚科・歯科・眼科・耳鼻科は、主として入院患者を診察しています。



独立行政法人  
国立病院機構

〒284-0003 千葉県四街道市鹿渡934-5

電話: 043-422-2511 FAX: 043-421-3007

ホームページ <https://www.nsh.gr.jp/>



ホームページは  
こちらへ

第25号

令和4年10月発行

発行責任者 重田みどり  
編集委員長 丹野 裕和